

信州イスラーム世界勉強会

2月の定例会が、本年度最後の例会となります。ヨーロッパとアジアの境界に位置し歴史と文化に恵まれた中東の大国のトルコの歴史と現在に関する講演会です。現在の中近東情勢を理解するためにも、必聴の講演会です。いつものように、どなたでも参加できる自由でオープンな勉強会です。皆様のご参加をお待ちしています。

信州イスラーム世界勉強会主旨

「信州イスラーム世界勉強会」は、長野県内外の市民有志が自由かつ客観的な眼で自分たちにとってどんどん身近な存在となりつつある、イスラーム教徒やイスラーム世界の動向を知り・考えて、それを自分たち自身の生き方や日本・世界の針路に役立てようとする学びあいの広場です。

2015年12月のキックオフミーティング以降、様々な催しにこれまで参加いただいた皆様のご協力・ご支援に心より感謝申し上げます。

2018年春より、新しい会員制度のもとで運営されていますが、どなたでも参加できる自由でオープンな勉強会です。これまで同様勉強会の行事にご支援をいただくと共に、新規の会員として勉強会を支え、その運営にご参加くださるようお願いいたします。

信州イスラーム世界勉強会

代表 板垣 雄三

問合せ先

信州イスラーム世界勉強会 事務局

〒390-3813 松本市埋橋1-8-7

アルプスシャツ (株) 内

TEL0263-50-5514 FAX0263-33-9133

e-mail info@shinshu-islam.com

■ 2月定例会

定例会講演 「トルコの歴史と現在」

～日本(とりわけ長野県)との関りを視野に～

と き: 2月16日(土) 13:30～16:30

と ころ: 信毎メディアガーデン 3階 スタジオ。

〒390-8585 長野県松本市中央2-20-2

参加費: 一般1,000円 院生・学生500円

(年会費納入済みの信州イスラーム世界勉強会会員 参加費免除)

講師: 永田雄三 先生

元東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所教授

元明治大学文学部教授

プログラム:

第1部 トルコ人にとってのアイデンティティないし民族的誇りともいえる

「中央アジアの草原を疾駆する騎馬民族の末裔」と古代日本

(「騎馬民族説」など)

第2部 初代大統領ケマル・アタテュルクの提唱した「トルコ史テーゼ」と

日本の「ツラン主義」

第3部 高校世界史教科書における「ヨーロッパ中心」の記述と

日本人の世界史認識に見られる「イスラームへの認識」の不足、

講師略歴

1964年: 千葉大学文理学部史学科東洋史専攻卒業

1964年: 慶應義塾大学大学院文学部史学科修士課程入学

1965年: イスタンブール大学大学院文学部史学科博士課程入学

1969年: 同大学院博士課程修了、慶應義塾大学大学院修士課程修了

1970年: 財団法人東洋文庫奨励研究員(のち研究員)

1971年: 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所助手

1988年: 同研究所教授

1995年: 同研究所退官、明治大学文学部教授赴任

2009年: 同大学を定年退職

■ 「ツラン主義」

”満蒙開拓”をさらに拡大した実現不可能な思想。「満蒙開拓」にもっとも多くの犠牲を払った長野県を想起させます。

講師のご紹介 永田雄三 先生

元東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所教授
元明治大学文学部教授

著書

『前近代トルコの地方名士:カラオスマンオウル家に関する研究』

(刀水書房、2009年)

『中東現代史 1 トルコ・イラン・アフガニスタン 世界現代史 11』

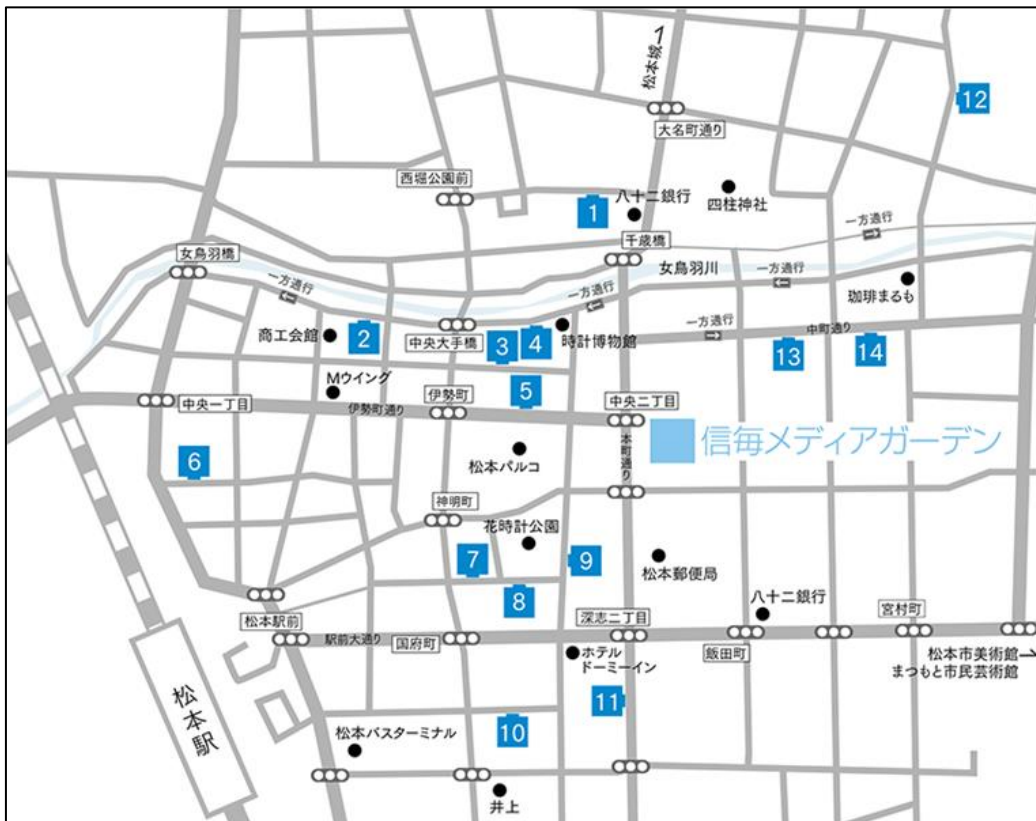
(加賀谷寛、勝藤猛との共著、山川出版社、1982年)

『世界の歴史 15 成熟のイスラーム社会』

(羽田正との共著、中央公論社、1998年／中公文庫、2008年)

『世紀末イスタンブールの演劇空間 都市社会史の視点から』

(江川ひかりと共著、白帝社アジア史選書、2015年)



【会場案内図】
駐車場がありません
ので、車でご来場の
場合は周辺の駐車場
(地図の番号表示)
をご利用ください。